

6-2. 吹田キャンパスにおける自然资源の継承と形成

維持・保全すべき自然を提示するとともに、人のアクティビティの観点から、人の交流できる緑、散策できる緑、眺める緑など、自然の性格を定義付ける。また、豊中キャンパスと同様に、維持・管理の度合い設定し、維持管理の効率化と良好な景観形成を目指す。

ただし、吹田キャンパスでは、自然の再編整備の余地が多く残されていることから、自然の定義付けは全体的な骨格のレベルで提示し、詳細な計画は、地区・場所ごとに検討を進めていくこととする。

